

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

「情報モラル教室」を行いました！！

7月3日（水）に秋田県教育庁南教育事務所社会教育チームの〇〇〇〇主任社会教育主事（兼）チームリーダーをお招きし、情報モラル教室を行いました。〇〇先生からは「ゲームやインターネットと仲良く付き合おう」というテーマで、「時間」「言葉」について、子どもたちに問い掛けながら、注意すべきことなどについて楽しく分かりやすく教えていただきました。

「時間」については、小学生には睡眠時間が9～12時間必要であり、睡眠の邪魔をするものとしてブルーライトがあること、睡眠は健康をつくる時間であることから睡眠の30～60分前にはゲームをやったり、スマホなどを見たりするのはやめようというお話がありました。「言葉」については、学校・ゲーム・スマホでもトラブルの多くは「言葉」からはじまること、そこで「へたくそ」「ばーか」「はあ？」「おまえのせいだ」というような「チクチク言葉」でなく、「ありがとう」「がんばったね」「すてき」「すごいね」「いいね」というような「ふわふわ言葉」を使うこと、さらには画面の向こうで傷ついている人がいるかも…と考え、思いやりの気持ちをもって使ってほしいというお話がありました。子どもたちはメモを取りながら真剣な表情で〇〇先生の話聞いていました。子どもたちには、今回の情報モラル教室で学んだことをこれからの生活、特に夏休み中の生活に生かしてほしいと願っています。

さて、現代は高度に発達した情報社会であり、かつてとは比べものにならないくらい便利な世の中になっています。その反面、ゲームやインターネットの世界に没入してしまい、現実空間と仮想空間の区別がつかなくなったり、SNS上で軽はずみな行動をして大変な事態を招いてしまったりする問題が起きています。こうしたネットトラブルから子どもを守るためには、保護者がその特徴や様々なリスクについて理解し、子どもを見守ることが重要になります。ただし、おやみに禁止したり規制したりするのではなく、例えばお子さんが動画などを見ていたら、その内容についてお子さんと会話することで、子どもたちは新しい言葉を獲得し、様々な知識も増えていくと思います。PTA全体会の際に私からも話しましたが、学校のタブレットやお家のスマホ等は、子どもに貸している物であって本人の物ではありません。子どもに任せっきりで、何が起きているか気付くこともできません。ほとんどの子どもたちは、「正しいこと」「やってはいけないこと」は分かっています。それでもしてしまうのが未熟な子どもたちの姿なのです。そのためにも、お子さんとお家の方との会話を通して、禁止するのではなく、使い方を考えていく、つまり「自ら考え、正しく判断する力」を身に付けさせていくことが必要ではないかと考えています。

修学旅行告知スポット放送について

明日、6年生が修学旅行に出発します。修学旅行中の様子を伝える告知スポット放送がAKT秋田テレビで7月10日（水）18時30分～18時50分頃に放送されます。この放送については、宮腰精機株式会社国見工場（取締役工場長 〇〇〇〇様）から協賛をいただきました。ありがとうございました。